

科目名	商業登記法	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法律学科	□必修	■選択
			学科	□必修	□選択
英文表記	Commercial Registration Act	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年		
		開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中		
ふりがな	ふじわら しんえつ	実務家教員担当科目	○	修得単位	4単位
担当者名	藤原 信悦	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	取引社会（訴訟を含む。）における商業登記の役割と実際の運用について理解する。				
到達目標	商業登記法制（規則、先例・通達類を含む。）の全体的把握と理解。				
授業概要	毎回レジメを配布して、それをもとに解説、講義する。				
授業計画					
第1回	商業登記の有する意義の具体例	第17回	登記申請の却下事由		
第2回	法人学説	第18回	登記申請の却下に対する不服申立て方法		
第3回	法人は実に雑多で厄介な存在である！	第19回	商号選択の基本原則（上手な選択方法）		
第4回	法人企業と個人企業	第20回	目的の決定の基本原則（上手な目的の定め方）		
第5回	法人格否認と権利能力なき社団	第21回	登記簿の公開とその方法		
第6回	登記簿（付随して登記所、登記官）	第22回	持分会社		
第7回	商号の登記（個人商人の場合）	第23回	会社法908条と当事者適格（最高裁判例）		
第8回	未成年、後見人、支配人の登記	第24回	会社法908条と正当事由（最高裁判例）		
第9回	株式会社の設立・1	第25回	不実登記の扱い（最高裁判例）		
第10回	株式会社の設立・2	第26回	取締役辞任登記未了の場合（最高裁判例）		
第11回	役員変更	第27回	商号使用許諾者の責任（最高裁判例）		
第12回	資本の変更（増資を中心として）	第28回	登記の懈怠と罰則		
第13回	登録免許税の概要	第29回	商業登記とデジタル化		
第14回	登記申請の原則（登記簿にアクセスするには？）	第30回	商業登記の病理と是正		
第15回	前期のまとめ	第31回	後期のまとめ		
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験		
授業時間外の学習	特になし。				
履修条件 受講のルール	①出席回数の確保（10回以上欠席は、無条件で単位を付与しない。） ②授業中は、席を離れないこと。 ③授業中の私語厳禁。				
テキスト	特になし。				
参考文献・資料	①商法判例百選（商行為・総則） ②会社法判例百選 以上、有斐閣				
成績評価の方法	前期後期の定期試験の結果を合算して、基準にしたがって評価する。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー					
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)				
実務経験及び実務を活かした授業内容	商業登記の網羅的、概念的説明ないし講義ではなく、商業登記申請や企業法務に携わっている経験から理解しておくべき点を重点的に解説する。				
学生へのメッセージ	経験上、出席回数と成績は比例する、といえるので、極力出席回数30回を目標とすること。				